



新型コロナウイルス感染症対策

冬の感染拡大防止に向けて

気温の低下や積雪の季節を迎え、屋内で暖房や窓を閉めた活動が増えます。また、社会経済活動も活発になることから、感染拡大を回避するために、基本的な感染防止行動を実践しましょう。

1 「三つの密（密閉・密集・密接）」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止行動を実践しましょう。

2 発熱や咳など体調が悪い場合は、外出を控えましょう。

3 飲食の際は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、短時間で、深酒せず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用するなど、感染リスクを回避しましょう。特に、大人数の飲食の際は、より一層注意しましょう。

ワクチン接種後も感染防止行動を続けましょう

ワクチン2回接種後でも、免疫はつくまで1～2週間程度かかります。また、接種後の感染、いわゆる「ブレークスルー感染」も確認されています。

接種後もマスク着用など基本的な感染防止行動を実践し、ご自身や周りの方を守りましょう。

ブレークスルー感染事例その1

マスク無しでの長時間の飲食

ワクチン接種をしたので安心し、友人6人とマスクなしで長時間おしゃべりをしてしまった。

➡ 飲食は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している店を選び、短時間で、会話の時はマスクを着用しましょう。

■ 問合せ 保健福祉課健康推進係
(ゆとり内 ☎ 23 - 4044)

ブレークスルー感染事例その2

体調不良時の出勤

発熱はあったが、ワクチン接種をしたので、大丈夫だと思い、勤務を続けてしまった。

➡ 発熱、喉の違和感など、いつもと体調が違うときは、出勤や登校を控え、医療機関や保健所に相談しましょう。

ブレークスルー感染事例その3

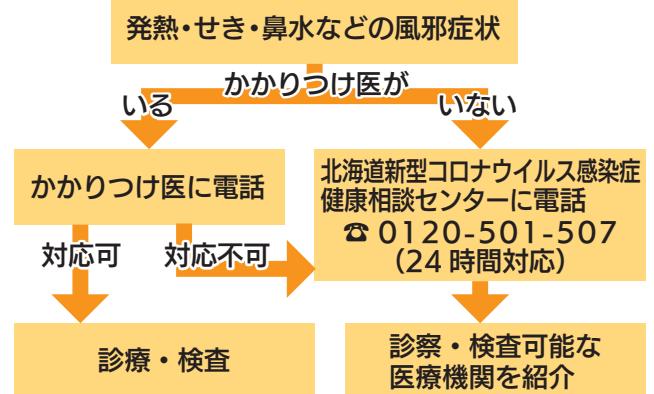
グループでの一泊旅行

ワクチン接種した仲間との旅行中、マスクなしで長時間の会話をを行った。

➡ 旅行先でもマスク着用や換気を行いましょう。移動する際の車中も注意が必要です。

発熱があったらまずは電話で相談を

風邪症状のある方は、他の患者や医師・医療従事者への感染を防ぐため、電話で相談ください。



受診の際には必ずマスクを着用しましょう

少なくとも、以下のいずれかに該当する場合は、すぐにご相談ください。

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- 高齢者や基礎疾患のある重症化しやすい方で、発熱やせきなど比較的軽い風邪症状がある場合
- 上記以外の方で、発熱やせきなど比較的軽い風邪症状が続く場合
- 妊婦の方も、早めにご相談ください。
- 小児は、かかりつけ小児科または「北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター」へご相談ください。

♪～「生まれかわる～サップロの地に～君の名を書き～オリンピックと～♪」

〔虹と雪のバラード〕 作詞 河邨文一郎 作曲 村井邦彦。

札幌市営地下鉄の発車メロディーに使われている、今からおよそ50年前に開催された、昭和47(1972)年札幌冬季オリンピックのNHKによるテーマソングです。石狩平原スキー場のロッジ内には、この時のスキージャンプ「日の丸飛行隊」の練習用スキーが展示されています。今年一年遅れで開催された「東京オリンピック2020」の札幌でのマラソン競技・競歩競技は、50年後、Withコロナ下で「観戦を推奨されないオリンピック」として記憶されるのでしょうか。

この札幌オリンピックでは、当別町民も聖火リレーの一部を走りました。昭和47年1月号の広報に、聖火ランナーをつとめる中高生による、町長との座談会記事が出ています。メンバーには、現在の後藤町長もおられます。札幌大橋はまだ開通しておらず、太美地区は本町側から見て奥側という状況でした。以下、座談会の記事を少し拾ってみましょう。

前書きに「…アジアではじめて開かれる冬のオリンピックは二月三日から十三日まで…この大会期間中燃え続ける聖火は、…一月一日に東京に到着し……一月二十日道南コースの函館、道東コースの釧路、道北コースの稚内に到着し、その後十五歳から二十歳の男女一隊十三名のリレー隊によって百三の市町村を通過し一月二十九日札幌へ到着し集火されますが、この二十九日の札幌市

第12回 札幌オリンピックと当別町

北海道有朋高等学校(通信制課程)教諭

吉嶺 茂樹

内リレーのうち大谷地の清水建設から白石町の札幌ファミリーボールの区間を当別が担当することとなり、町内の中高生から十三名が選ばれています…」とあります。集まった方々は次の通りです。「後藤正洋君(当高2年)湯浅成徳君(当高農業科4年)伊藤美子さん(当高3年)松木由美子さん(当高2年)中鉢敏明君(当中3年)室田智之君(当中3年)梅津郁子さん(当中3年)坂本淳彦君(西当中3年)荒川晃一君(西当中3年)木下靖雄君(西当中3年)竹原美智子さん(西当中3年)中西多加行君(中小屋中3年)梶尾進君(弁ヶ別中3年)、上口町長」です(表記は当時のまま)。写真は座談会の様子です。



前半は、メンバーとしての決意や抱負、思いなどが熱く語られています。上口町長の「…正々堂々と誇りをもった行動でランナーとしての使命を果たしてもらいたい…」という言葉に対して、最初に現・後藤町長から「…町の代表としてリレーに参加できる事で胸が一杯です」という発言があります。他にも「名誉あることですから頑張りたい」「責任の重さです」といった発言があります。後半は町政や産業についても話し合われています。町長からは町の今後に対して「どうしても石狩川に橋が必要になってくると思います」という言葉がありました。札幌大橋が架かるのは16年後の1988(昭和63)年のことです。